

1 美甘こども園の教育保育目標

未来は遊びの中に

～生きる力は遊んで学ぶ～

○いきいきと楽しむこども

○どンドン考えるこども

○ぽかぽか温かいこども



2 本年度の重点目標（課題）

【極小規模園の挑戦】

★美甘こども園だからこそ可能な「共育」と「郷育」を探求しよう★

- ◆一人一人の「やってみたい」や「もっと」という願いが叶えられる遊びの充実を図ります
- ◆みんなが気持ちのよい生活を送るために依存から自立へと意識を高めます
- ◆「豊かな話し言葉」が育まれる環境づくりを工夫します
- ◆美甘の地域のよさや自然を知り「ここで育ってよかった」と思うことができる嬉しい体験（温かく優しい）を増やします

【小規模園の保育の挑戦1】トキメキヒラメキタイム～本気で遊ぶ～

- とことん遊ぶ「場」と「時間」の保障
- 「もっと」やりたくなる教材・素材の提供
- 「気づきや発見」への承認とその「喜び」への共感の言葉がけ

【小規模園の保育の挑戦2】絵本とわらべ歌で温かい繋がりへ

- 日本語の響きや調子に触れ心地よさを感じる
- ホッとやる気になれる魔法の言葉のシャワー
- 安心できる人間関係づくり

【小規模園の保育の挑戦3】情緒の安定と自立心～家庭と共に～

- 生活リズムの定着で体内時計をつくる
- 「一人でできるもん」を増やそう

【小規模園の保育の挑戦4】美甘探検隊～本物体験～

- 月毎にテーマを設けて地域の人・自然・文化に触れる機会を計画的に取り入れる
- 晴れでも雨でも雪でも歩いてみよう！週に2回は園外保育

【小規模園の保育の挑戦5】何でも助け隊～ニコニコレンジャー～

- 野菜作りのサポート
- 頑張り支援（声掛け・見守り）
- 環境整備（除草・除雪）

3 本年度 美甘こども園 学校評価（自己・学校関係者）評価書

評価指標	観 点	園総合評価	評価委員評価 (学校評議員評価)
教育保育課程 指導計画	園の教育目標・保育理念や目標及び重要事項を理解し、指導の重点や研究テーマに沿った保育に取り組んでいる	3	4
行 事	ねらいを明確にしながら実施し、園児の育ちをポイントに常に見直しを行っている	4	4
組織・運営	園の課題を明確にした経営計画をベースに同僚性を生かした組織作り・園運営をしている。	4	4
学級経営	寄り添い内面理解をすることを保育の基本とし温かい人間関係を構築している	3	4
特別支援教育	一人一人の困り感を理解しながら援助や環境作りをしている	3	4
安全管理 保健指導	情緒の安定のためメディアコントロールや絵本など家族時間を大切にする取組を推奨している (貸出絵本の取組)	4	4
研修 (資質向上)	テーマを設けた園内研修を継続し、常に資質向上に努めている	4	4
情報提供・保護者・ 地域との連携	保護者と日常的な情報交換に加え必要に応じて個別に面談を行い、「こどもがまんなか」で連携を図っている	4	4
小学校との 接続・連携	園と小学校職員の協議・交流の場をもち、幼児・児童が互いに学ぶことができる交流の場を設けている	3	4
子育て支援	保護者が必要とした時に安心して相談のできる関係づくりに努めている	4	4
食育の推進 (給食)	野菜栽培を通して、育てることや食すことの喜びと美味しく食べられることへの感謝の気持ちがもてるようにしている	4	4
食事の提供 (調理)	給食の外部搬入であるが、調理施設・栄養士・配膳担当者との連携を行い、スムーズな給食提供ができるようにしている	3	4
環境美化	美化・整備・清掃を心掛けのびのびと活動に取り組める環境づくりを心掛けている	4	4

#### 4 その他必要な評価

評価指標	観 点	園総合評価	評価委員評価 (学校評議員)
信頼される職員	いつも明るい挨拶と笑顔の対応を心がけている	4	4
健康な心と体	感染予防に努め、体調に留意し、健康な状態を保つようにしている	4	4

#### 評価基準

- 4 十分達成されている (80%以上の達成度)
- 3 概ね達成されている (60%以上 80%未満の達成度)
- 2 取り組まれているが、成果が十分でない (40%以上 60%未満の達成度)
- 1 取り組みが不十分である (40%未満の達成度)



※園総合評価は保護者アンケート・職員園内自己評価チェックによるもの (別資料)

#### 5 本年度の重点課題及び総合的な評価結果の考察等 (学校関係者評価委員総合所見含) と評価を受けての具体的改善方策等

今年度の取組について学校運営委員の方から高評価でよいと承認をしていただきました。極小規模園であっても、美甘だからこそできる保育があると工夫してきたことに対し、ご理解とご支持をいただいたということであり、それは次年度への期待と受け止めている。

今後も「通いたい・通わせたい・勤めたい園～幸福度が高まる園～」であるよう工夫と挑戦を継続したい。

##### 〈極少規模の異年齢保育の工夫について〉

職員が「こどもの育ち」を柱に日々語り合うことを大切にしてきた。他の園にはない美甘オリジナル保育の面白さに気づき、保育者も子どもと同じ目線で遊び、思いや発見を伝え合うようになっていく。先生として緩やかに道徳心や社会性を育む援助や指導をするとともに、一人の仲間として遊びを創り出したり、生活の中の疑問に向き合ったりしている姿に子ども達も安心して自分を表出している。異年齢の関わりの中で憧れや慈しみの心が育まれたり、子どもの発達段階や興味関心事に応じつつ、それぞれの自主性や主体性を活かすことができたり、少人数だからこそ可能になる保育内容について再確認できた。今後も「遊び」と「生活」の中で心を動かす体験を重ね、自分で生きていこうとする気持ちとその術を一人一人に丁寧に育んでいきたい。

##### 〈小学校との接続について〉

校長先生が隊長になっての「美甘小学校探検」、合同運動会、1・2年生との「おもちゃランドで遊ぼう」など、ワクワクと心が躍る交流となった。小学生にとっても年下の人を慈しみの気持ちを持ち成長できる機会となり、園児にとっても小学生への憧れの気持ちを抱くことができるため、次年度も互恵性のある交流を計画的にすすめていきたい。

##### 〈新庄保育所との交流について〉

今年度も「文庫祭り」「子ども消防士育成プロジェクト」に参加し、交流することができた。次年度は年長児同士の保育交流が継続的に可能になるよう働きかけたい。(職員にとっても学びの場となる)

##### 〈地域と繋がり、美甘の良さを知る〉

年間計画「美甘探検隊」をベースに様々な場所に出かけ、自然・人・文化に触れることができた。「ここに行ってみたら?」との提案や「よく来たねえ」「ありがとう」との感謝の言葉をいただき、温かい繋がりに支援していただいていることを実感している。「ここで育ってよかった」と思うことができるよう、次年度も積極的に地域に出かけたい。また、2名が年長児になるため、今年度までの経験を基盤に、「行ってみたい・やってみよう」という思いや考えを提案する「こども会議」をサポートし、園児自ら計画・実施できる「美甘探検隊」にしたいと考えている。

##### 【次年度以降の工夫と挑戦ポイントとなる場所】

- ポイント1 クリエイト菅谷を探検フィールドとして活用
- ポイント2 米作り参加計画 (地域づくりに参画+食育)
- ポイント3 保護者会との共育システムづくり (大人もこどもも楽しもう会)